(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 3年度 事務事業評価表( 令和 2年度 の実績評価) 令和 月 事業区分 事務事業名 スポーツ少年団育成助成事業 新規/継続 継続 事務事業No. 020403000099 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 090501 所属課 O2O4 生涯スポーツ活動の振興 スポーツ振興課 総合計画の施策名 02 生きがいを育む学びのまちづくり 課長名グループ 策 政策名 体 O4 生涯スポーツ活動の振興 スポーツ振興G 施策名 03 ③スポーツ団体の支援とリーダーの育成 系 手段名 担当者名 財務会計上の位置付け 業期 会計款 目 事業 細 一般会計 単年度繰返し ( 平成17 年度~) 予算科目 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 01 10 06 01 02 00 保健体育総務事業 法令根拠 桜川市スポーツ少年団育成補助金交付要項 (Do) 1. 事務事業の現状把握(その1) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・役員会、総会の資料作成及び開催 ・桜川スポーツ少年団は、スポーツの普及と育成及び団体活動の活性化を図 り、地域の青少年育成に寄与することを目的に活動する団体であり、青少年か し、地域の青少年育成に寄与することを目的に活動する団体であり、青少年か 一人でも多くのスポーツの歓びを感じられ、健全な体と心を育てられる組織作 ・団員、指導者登録・団体への補助金交付 りのため市はその事務局を行なっている。 茨城県スポーツ少年団大会参加受付及び申込み • 団員募集案内等 (令和3年3月19日現在 団体数30単位団 団員数487名 指導者・スタッフ数 144名) 段 ○単位団種目別内訳 バスケットボール5団、軟式野球5団、サッカー5団、柔道1団、 がある団、で手4団、ドッチボール2団、バレーボール3団、 バトミントン1団、水泳1団

			シアノ「凹、小次											
(	2)	事務	事業の手段・対象	そ・意図と各指	標、指標値の推	移			ı	04年度	00左座	00左座	0.4左连	0.5年在
1	)手戶	殳 (	担当者の活動内容)		④活動指標	(活動量	を表す指標)		単位	O1年度 (実績)	02年度 (実績)	O3年度 (計画)	O4年度 (目標)	O5年度 (目標)
	/n. =	会、総会の資料作成及び開催 、指導者登録 の補助金申請及び配分		事業数					11.00	5.00	11.00	11.00	11.00	
•	団員								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		茨城県スポーツ少年団大会参加受付及び								0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)				⑤対象指標	(対象の	大きさを表す指標	票)	単位	01年度 (実績)	O2年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
					児童数				人	1,977.00	1,805.00	1,805.00	1,805.00	1,805.00
市	市民(小学生)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)				⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	O4年度 (目標)	05年度 (目標)
	スポーツ少年団の普及と育成を図る。				単位団体数	単位団体数			J	32.00	30.00	30.00	30.00	30.00
ス					スポーツ少年	スポーツ少年団体人数			人	545.00	487.00	487.00	487.00	487.00
									0,00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(	(3) 投入量(事業費)の推移 ―			O1年度 (実績)				O3年度 (計画)					間限定 設投入量	
	事業費	財	国庫支出金県支出金	千円千円		0	0			0				0
投		源	地方債	千円		0	0			0				0
		内訳	使用料・手数料	料 千円 千円		0	0			0				0
入			一般財源	千円	1,00	00	1,000			,000				0
		事業費計(A) 千円 正規職員従事人数 人			1,000 1,000 2.00人 2.00人		2	1,000 2.00人					0	
量		工/元明宗 凡于八致 八		2.007	2.00%			2,00%						
	02年度事業費 実			宝績 (千円)	績 (千円)				3年度事業費 予算(千円)					
	18 負担金補助及び交付金 1,000				And (III)	(113)						3: <del>31.</del> (113/		
事														
業														
費の														
内														
訳														
					合	†	1,000					合	計	1,000

				I	<u>-</u>						
事務事業名	スポーツ少年団育成助成事業	事務事業No.	20403000099	所属課	スポーツ振興課						
<ul><li>(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?</li><li>・桜川市の誕生に伴い、旧町村にそれぞれあったスポーツ少年団が一本化され、平成17年12月に桜川市スポーツ少年団が発足、以後少しずつ単位団が増加傾向にあったが、現在は少子化に伴い減少傾向にある。</li></ul>											
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?											
<ul> <li>・少子化に伴い各単位団の団員数が減少傾向にある。団員数を確保するため更なるPR活動をしてみてはどうかという意見が寄せられている。</li> </ul>											
【See】 2. 評価の部											
①政策体系との整合			びついているか?)								
現におびついている	・スポーツ少年団の普及と育成及び団活動の活性化を図り、地域の青少年育成に寄与することを目的とする活動は、スポーツを通して健康で豊かな生活を送るという結果のための手段となっているため結びついている。										
維②公共関与の妥当性持	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称)										
妥当である	・意図にある団活動により、結果を生み出す契機となっている。また、市民がスポーツに親しめる環境をつくっていかなければならないので妥当である。										
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)											
向上余地がない ④廃止・休止の成果・											
有		_	お炒合が生われ まち	クボギの <b>ま</b> のも	これが増し 辛回にま						
効  <b> </b> 影響有  性	る自然と自然と建成する子段があくなる。										
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 🖳 具体的な手段、事務事業名										
余地がない											
効 ⑥事業費・人件費の	ないか?)										
率 性 削減余地がない											
公 ⑦ 受益機会・費用負	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)										
<u> </u>	・市民のスポーツ活動、また、青少年育成の一環であるため公正・公平である。										
	果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映										
(1) 1次評価者とし		全体総括(振り返り	)、反省点 <i>)</i> (ポーツ少年団の理念に	ある自主活動にの	Dっとり各単位団とも						
①目的妥当性 ■ ②有効性 ■ ③効率性 ■ ④公平性 ■	適切 □ 見直し余地あり 適切 □ 見直し余地あり 適切 □ 見直し余地あり 適切 □ 見直し余地あり	舌動を行なっているこ	とが確認でき、単位団 員減少が続いているが	の役割と、市の役	<b>役割が計画どおり遂行</b>						
(3) 今後の事業の方向		回答可)		(4) 改革・	・改善による期待成果						
	継続 ──→ □ 改革改善を行う─→   🗆 🛮 目的	回合可) の再設定 □ 性の改善 □		(終了・廃止	・休止の場合は記入不要)						
□ 廃止 □ 位	木止 → ■ 現状維持	合ができる	連携ができる 丿	向	削減 維持 増加						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策											
成果 持 〇											
					業優先度評価結果						
				成果優先度評	2価結果 ③						
【Check】 4. 確認及 (1) 課長評価	及び改革改善に向けての指摘事項 (2	) 部長確認及び評(	西 (課長評価により、	C. D判定及7篇	在認が必要な場合)						
課長確認後の評価				J, DISALIXUII	20010 20 SC (OM/) [ ]						
A:継続(	(現状維持) C:終了、廃止、休止 ( (改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<b>音芯材</b>									